

128段のらせん階段の先に  
感動の景色に出会えます!!



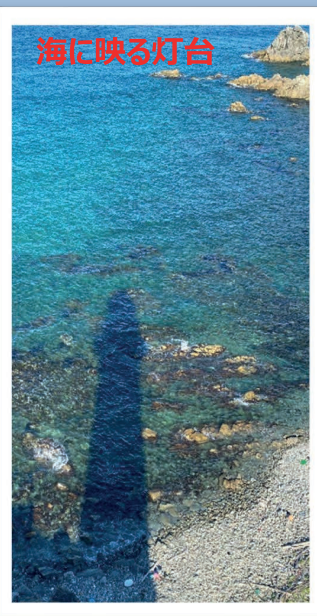
津軽海峡に沈む夕日



太平洋の眺め



津軽海峡と太平洋の波がぶつかるのが  
見えるときも……



海に映る灯台



迫力のある33mの高さ



尻屋埼灯台

### アクセス

鉄道・バス等

- ・JR大湊線下北駅下車  
下北駅～むつバスターミナル(下北交通バス尻屋崎線)  
～尻屋崎口下車(約40分)、徒歩約30分  
※ 5月1日から10月30日までの間、上記バスは尻屋崎  
(灯台の目の前) まで運行されます

自動車

- ・八戸自動車道八戸IC～国道45号、338号、  
県道6号経由 約2時間30分

### 参観時間

- ・4月上旬 ～4月30日 9時00分～15時00分
- ・5月 1日 ～11月上旬 9時00分～16時00分

※尻屋埼灯台は季節参観のため、11月上旬～4月  
上旬まではのぼることができません。  
悪天候の際はのぼれない場合も  
ございますのでご了承ください。  
日々の参観状況等につきましては、  
当会HPをご覧ください。

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight16/>

### 参観寄付金

大人 300円(中学生以上)  
小学生以下及び障がい者(介助者1人まで)  
の方はいたしません

### 燈光会 尻屋埼支所

〒035-0111  
青森県下北郡東通村大字尻屋字尻屋崎1-1  
TEL: 0175-47-2889 (FAX兼)



尻屋埼

# しりやさきとうだい 尻屋埼灯台

重要文化財



のぼれる灯台16の一つ  
レンガ造りでは日本一高い

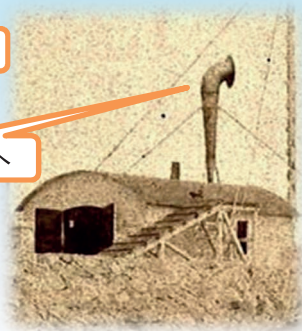


## ～わが国で初めて設置された霧鐘～



初代霧鐘

霧鐘から霧笛へ



尻屋埼灯台霧鐘

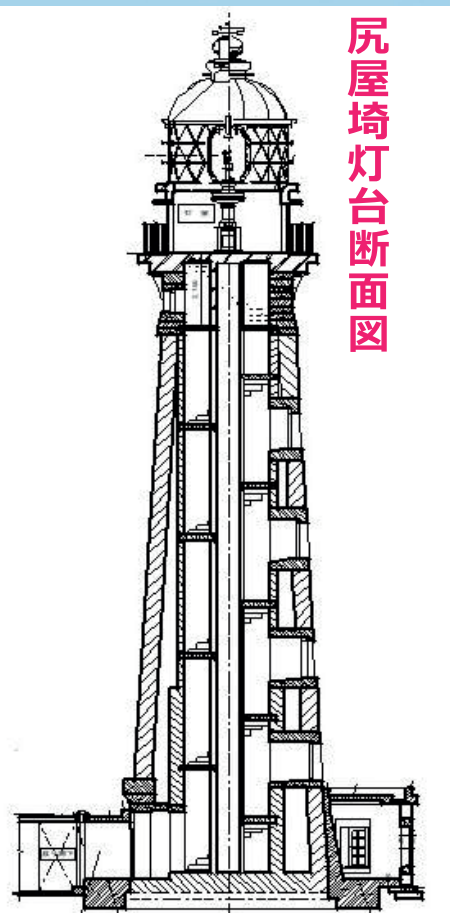


初代の霧鐘  
現在は、犬吠埼灯台構内に展示

### レンガ二重構造

灯台内部で  
レンガ二重構造  
がみえます！

レンガ二重構造  
拡大



尻屋埼灯台断面図

## 尻屋埼灯台の歴史

明治9(1876)年10月20日 初点。

下北半島の最北東端に位置する尻屋埼灯台は、  
平成30年6月1日に16基目の「のぼれる灯台」になりました。

尻屋埼灯台の名称は、建設当初は「尻矢埼」でしたが、  
昭和38年6月1日 海上保安庁と国土地理院の統一に関する  
連絡協議会で決定し現在の「尻屋埼」に変更。

明治16年10月24日 午後8時30分、みぞれの降る夜に灯台  
のガラスを突き破り隕石が落下した記録が、当時の官報に  
割れたガラスの図とともに詳細が掲載されています。  
隕石の落下記録がある灯台は、この尻屋埼灯台だけです。  
そして忘れてならないのは、怪火(あやしび)の記録です。  
戦後、戦災で消灯している灯台が、点灯している現象を当時の  
灯台職員全員が実際に目にしています。

数々の歴史が伝えられており、明治政府がイギリスから招  
へいた灯台技師ブラントン最後の設計灯台であり日本の  
レンガ造りの灯台で一番高い灯台です。

令和4年12月12日、技術的に優秀であり、歴史的価値が  
高いものとして、重要文化財に指定されています。

### 【この灯台の概要】

位置: 北緯 41度25分49秒 東経 141度27分44秒

光り方: 単せん白光 10秒に1回発光(沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから  
放たれる光を10秒ごとに見ることができます)

光の強さ: 530,000カンデラ(「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)

光の届く距離: 18.5海里(約34キロメートルです。1海里は1,852メートルです)

高さ: 灯台の基礎部から灯台の頂部まで、約33メートル

レンズ: 第二等2面フレネル式せん光レンズ(複数のプリズムを組み合わせることにより軽量化  
されたレンズで、「フレネル」とは、フランス人開発  
者のフレネル氏の名前です)